



一 般 質 問

12月定例会



12月11日～13日の3日間にわたり、14名の議員から市政に対する一般質問が行われました。(掲載は次ページからになります。掲載の順番は質問順です。)
掲載内容は、一般質問および答弁内容の一部を抜粋し、各議員が作成した原稿を基に編集委員会において確認し編集しております。
なお、正副議長につきましては、任期中は申し合わせにより一般質問は行わないこととしております。



長野県市議会 議長会総会

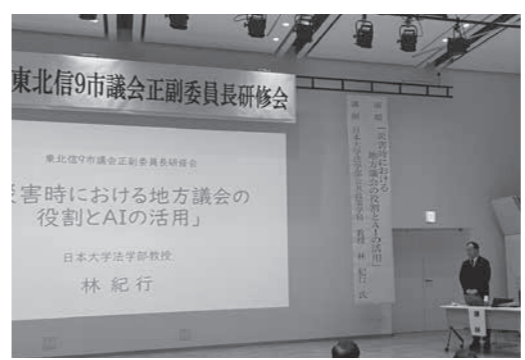


1月25日千曲市において第171回長野県市議会議長会総会が開催され、渋川議長と岸田副議長が出席しました。
総会では、令和6年度予算が承認されるとともに、各市提案の議案も全て原案のとおり可決されました。
また、石川県、富山県、新潟県の各市議会議長会へ令和6年能登半島地震に係る見舞金を送ることが決まりました。



東北信9市議会 正副委員長研修会

1月31日小諸市において第61回東北信9市議会正副委員長研修会が4年ぶりに開催され、当市からは正副議長を含め9名の正副委員長が出席しました。
研修会では、日本大学法学部公共政策学教授の林紀行氏から「災害時における地方議会の役割とAIの活用」について、実際の事例をもとに議会活動における具体的な活用方法等について講演いただきました。



**災害対策は市民目線で・希望を
持てる飯山市へ**
村松正勝議員

問 千曲川中抜け区間解消に向けて対策は進んでいるか。
答 国の人事局等へ千曲川信濃川飯山中里間直轄河川編入連絡協議会の活動で北陸地方整備局の体制強化を要望した。
問 飯山市公式LINEの運用を多様化できないか。
答 現在の運用方針は緊急情報のみ限定。今後の運用方針については検討していく。
問 指定避難所の変更は何故。また、城南中避難所の課題は。
答 複数の避難所で収容可能人数を超過する為、市内全域での再検討を実施した。城南中で課題のトイレ・エレベーターの設置は研究中。暖房機器については準備をしている。
問 城南中学校通学方法決定から8年経過したが、小中学校全体で見直ししないのか。道路状況次第で車道を歩く必要や橋を渡るので冬だけバスに乗れないかと声があるが。
答 令和7年度開校予定の城北小学校通学方法等検討委員会、開校計画推進会議で検討。7年度からの見直しを計画。今後、新たな緩和した基準の中で対応していきたい。

**市政運営および
犯罪被害者等支
援条例**
上松永林議員

◆市政運営
問 新規事業の補正予算案は審議時間を考慮して提出を。努力をしてみたい。
答 6年度予算編成方針に市長公約に掲げる重点施策を第一義とするがあるが。
問 市長公約「安心で安全な住みやすい元気な地域づくり。2 医療福祉の充実、出産子育てしやすい飯山市。3 スポーツ・文化・芸術・歴史・伝統を活かした飯山市づくりによる観光振興。4 産業振興事業者支援。5 誰もが活躍できる地域づくりの5つの重点政策の推進を念頭に基本構想等との整合を図り各種施策の事業化に向けて予算編成を進める方針」の結果と対応は。
答 教育という言葉を明記してとの意見があり、条例案に追加修正して提案した。
問 家族が加害者のときは。3親等以内の親族関係の場合は支援金等を支給しない。
問 外国人観光客への対応は。対象は市内居住者であり外国人観光客は考えていない。

**市が所有する公
共施設の今後の
在り方について**
高澤富士子議員

問 旧城南中学校のプレサウンディングについて問う。
答 10件の応募があった。個別に聞き取り中で1月以降に公表できる部分を開示予定。
問 城北小学校開校後の閉校4校の、後利用に伴う避難所機能はどう考えているか。
答 現状のままでの後利用となる場合は、民間譲渡であっても避難所としての利用を前提に、また更地にする際は代替避難所を確保する予定。
問 飯山市は市民一人当たりの公共施設占有面積が県内一位である。市民の負担する維持費も一番多いということになるがそれについての認識は何かか。
答 飯山市公共施設等総合管理計画の見直しを進める中で把握はしている。全体の2割削減という目標に向けて維持費や委託の方法等を検討する。
問 市所有の観光施設に関して、観光局には個々の収支状況に合った指定管理料を設定すべきではないか。
答 各施設がこのまま公共施設であり続けるかといったことは今後具体的に検討したい。


**学校給食無償化
通学の安全確保
ガザ停戦の発信**
荻原章一議員

問 学校給食の段階的無償化へ向け、本年度は4割公費負担を実施しているが、この事業評価については。
答 小中学生の保護者の方々にとっては非常に大きな支援になっている。給食の質も落とさず続けている。
問 冬期間の中学生通学安全確保について。防犯上の問題等のために保護者が送迎している実態が続く。従来から要望しているが、今冬からスクールバス利用ができないか。子どもの安全な通学を市がどう保障するかという条件整備の問題。市長の見解は。
答 指摘のあったところを早急に確認し、教育長とよく相談し善処していきたい。
問 パレスチナ・ガザ地区の状況に心を痛める。人道危機にあたり、地方から日本政府に対し即時停戦のための外交努力を求めることが必要では。
答 これ以上の犠牲者を出すことなく話し合いによる平和的な解決を願う。政府においては紛争解決のための外交努力強化が必要。意見の提出は研究検討する。

**予算編成と財政
健全化について**
山崎一郎議員


問 市税収入が限られている当市において、ふるさと寄付金は予算編成上重要な財源であるし、特産品の販売にも貢献している現実だが、令和2年の15億円余をピークに毎年3億円余減少の状況だが今年はどうな状況か。
答 11月末現在で、対前年度比1億5千万円余減少の状況。
問 今年度予算では新たに3億7千万円余ふると基金に積み立てることになっているが見込めるのか。
答 現時点で昨年実績の75割の見込みで厳しい状況。
問 このような状況において江沢市政たった一年で9億2千万円余も基金を取り崩す今年度予算編成になっている。こんな状況が続くと今後の予算編成次第では、前市政で長年積み上げてきた16億円余の基金は江沢市政の4年間でなくなると予想されるがどのように受け止めているか。
答 基金の状況は今後の推移で変わってくるので、全て取り崩すなどと言うことのないように、また地域の経済も着実に伸ばして参りたい。

高年齢者支援・妊産婦支援・子育て支援について




高橋春三議員

上水道・防災計画・子育て支援・国スポについて




高橋達幸議員

お米の干ばつ被害とクマ対策について



山崎武雄議員

人口減少対策・空き家対策について



西澤一彦議員

消防施設の修繕について



吉越利明議員

問 運転免許証の自主返納後の支援をどのように考えるか。
答 現在のところ自主返納後の支援は行っていないが、他自治体の先行事例を参考に支援策の検討を進めていきたい。

問 自動車に乗れなくなった後の移動手段をどう考えるか。
答 自動車に変わる移動手段として公共交通機関を利用できるよう、他自治体の先行事例なども参考に、効果的な高齢者への支援策について検討を進めていきたい。

問 妊産婦に対し身体にやさしい地元産の特別栽培米をプレゼントするのはいかがか。
答 特別栽培米を含め飯山市のおいしく安全な農産物を勧めたい。妊産婦等へのプレゼントという視点も参考としたい。

問 保育園の食材料費が高騰している。給食費の予算を小規模保育園に増やしては。
答 国の基準により給食費の金額を設定しているが、小規模の保育園は仕入れが少量のため単価が高くなることも。どの園の子どもも同じ水準の給食やおやつが提供できるように検討していきたい。

問 上水道地下埋設管の劣化等により漏水し、35軒もの水が失われており電気料金等の経費が無駄になっている。埋設管の布設替えを早急に本格的に対応し、改善を図るべきと考えるが見解を。
答 今後も日常的な調査と速やかな修繕に努めていく。また、平成30年度策定の飯山市水道事業経営戦略に基づいて、より効率的で実効性のある施設更新に努めていく。

問 トピアホール等の広い避難時において、停電になった場合の電源をどのように考えているか。
答 暖房設備が不足する場合に備え対流式石油ストーブ25台を用意。当市の災害時の備蓄計画洪水編で発電機については目標値33台を順次購入して整備していく計画である。

問 園児・小中学校の給食費完全無償化の取組み状況は。
答 国の動きに注視し財源確保について検討していきたい。

問 国スポに向け、市長の大会に向けての強い決意を。
答 非常に重要な行事と心得ており、全力で取組みたい。

問 今年は記録的猛暑によりお米の収穫量が少ないと聞くが、市内の状況はいかがか。
答 集荷量は昨年比で2割減、一等米比率は農水省発表の10月末時点での速報値で61・3割であり2004年産以降最低の状況となっている。

問 玄米60キロの平均価格は5年間で3000円近くも下落し、肥料は3年前の2倍以上に高騰している。財政出動等の支援をすべきではないか。
答 現在、燃料や肥料などの価格高騰の影響を受ける農家に支援策を検討している。

問 クマの出没状況と、市民への安全対策についてお尋ねする。
答 出沒情報件数は11月末日時点で167件。これは昨年78件の倍以上である。出沒情報発信とパトロールの強化、集落周辺の柿などの収穫の推進を防災無線等で周知を行ってきた。今後は年度内にスマートフォンアプリによる出沒情報の提供を行い、電気柵設置や緩衝帯整備についても強化していく。

問 日本の人口は想定より7年から8年早く減少に向け進んでいるデータがある。市も国同様、想定より早く減少しているが対応策は。
答 第6次総合計画に掲げる「安全で安心して暮らしを愉しめるまち」の実現に向け施策を推進してまいりたい。

問 昭和40年代飯山市が財政破綻し40年代後半に秋津地区の山間地集落に住む100戸近い方々が同じ秋津地区の平坦地に移住され、コンパクト化が円滑に進行した。半世紀後の今、急速な人口減少の局面に対応できる市のあるべき姿について市長の思いは。
答 一つの施策として地域おこし協力隊、集落支援員の活用を申し上げている。

問 空き家バンクへの登録が空き家解消の最も有効な手段で成約率は8割と高い。建物の所有者が50代、60代のうちに家族間での話し合いが大切。この周知が非常に重要と考えるが。
答 重要と考える。先般、住まいの終活セミナーを開催した。更に周知を図る。


問 要望のある消防施設の修繕は、各区からの緊急性や要望年数などにおいて点数化を進めて行くと思いが経緯は。
答 予算の関係で年8件程度の修繕であるが、毎年1000件余りが未対応の状況であり早期に対応すべく検討を進めてきた。今後は3年間で42件の解消を目指している。

問 人口減少により市道除雪車のオペレータ不足が他地域でも課題となっている。飯山市でのタイヤドローザの作業員2名体制を今後どのように考えているか。
答 国などでは安全を確保する除雪支援システムの実証実験などが行われている。国県の動向を注視し、ワンマン体制も対応できればと考えている。

問 本年度の募金額は極めて少額であったが理由は。
答 市長の判断で、例年各区長経由でお願いしている募金活動を行わなかった。減少により緑化活動への影響が懸念されるため次年度は区長に協力をお願いし市民の理解を得たい。

一般質問

人口減の要因は生活のしやすさ・経済基盤の充実




高橋春三議員

問 生活のしやすさの究極は命に関わる医療です。飯山赤十字病院に関連して、普通交付税の算定基準に公的病院を入れることへの見解を伺う。
答 地域医療体制の維持のために、公的病院も公立病院と同等の普通交付税措置が必要であると考える。他の自治体との連携や、関係の国会議員への要請行動なども検討していきたい。

問 危険空き家対策として近隣の市では行政代執行に踏み切ったが、当市の今後を伺う。
答 行政代執行は慎重に進める必要があるが、必要と判断した場合は、法令に基づき速やかに執行していきたい。

問 平成22年からコロナ直前の対比で、観光客入り込み数は30割近くの減少だが、今後の行政と民間の協力のあり方を伺う。
答 行政は民間の補完であるというところが役割分担の基本である。民間でできることは民間で、行政はあくまでその補完に徹する。しかし補完が10だということではない。

市長の政治姿勢と6年度予算編成方針等を聞く



佐藤正夫議員


問 事業等を議会全員協議会よりも記者会見で詳細を述べ、既成事実化するのは如何か。
答 記者会見の席は詳細に説明できる。議会協議会では議員から質問があれば対応する。

問 新規事業を議会の直前に提案するのでなく、なぜ早く提案できないのか。思い付きだからか。早い提案で議員が調査研究でき議論が深まる。
答 思い付きでやるわけではなく、まとめるのに時間がかかる。早めの提案に努めたい。

問 冬期間、訪問介護先での駐車に困る。雪かき支援員の活用で解決できると思うが。
答 調査し検討して進めたい。

問 競技場の芝生化は莫大な設備費と多額の維持費が必要であり、私は反対である。
答 サッカー場の一方所は実現したい。

ワクチンの健康被害は・森林活用・都市交流



松本淳一議員


問 市内でもワクチンの頻回接種により健康被害があると考える。国に健康被害の訴えができるが、申請費用に市の補助ができないか。
答 申請に診断書等の文書料が必要だが、現状では補助制度の検討はしていない。

問 今後の遺伝子ワクチンでも自己免疫疾患の可能性が言われている。市は自らも情報を集め市民の健康を守って欲しいがいかがか。
答 接種は法や国県の情報に基づいて実施している。市には専門性がないので独自な取り組みは困難である。

問 市の民有林で境界が明確で現在、活用可能な面積はどのくらいか。
答 民有林9741haの約2・3割。

問 森林活用のためどのような取り組みを考えているか。
答 境界明確化のため森林組合との連携、人材育成など、体制強化を考えている。

政治姿勢と令和6年度予算編成方針について



小林喜美治議員

問 新型コロナウイルス感染症が一定の終息を見たが、物価高騰など日本経済の長期にわたる停滞、「失われた30年」といわれる状況が指摘されている。そのうえ政治資金の問題など政治不信も広がっている。こうした状況をどのように認識しているのか。
答 コロナへの対応が進展し、経済も落ち着いてきており、内需の拡大傾向にあると認識している。昨今の政治状況については、混乱しているとみているが答弁は差し控える。

問 予算編成方針について、5年度の地方財政計画は下回らないようにするとしているが、依然不透明なところもあることを指摘している。安心して暮らせる飯山市となることのできるのか、見解を伺う。
答 国の地方交付税の総額は、自治体に配分される出口ペーで前年度予算比1・1割増となっている。国の動向を注視して予算編成に及ぼす影響を考慮して、適正規模の予算となるよう取り組む。市民の皆さんが安心して暮らしていきたいよう計画を立てていきたい。

本会議を傍聴する方へお願い

本会議の様子は「i ネット飯山」でも放送をしております。
本会議を傍聴する場合は、傍聴規則を遵守いただき、拍手その他の方法により公然と可否を表明したり、議事の妨害となるようなことのないようご留意ください。

令和6年3月定例会
会期日程（予定）

- ◆ 招集・議案上程 2月22日（木）
- ◆ 一般質問 3月4日（月）
- ◆ 各常任委員会審査 3月7日（木）
- ◆ 委員長報告・採決 3月21日（木）